

LMcorsa

60  **H.YOSHIMOTO**
 **R.MIYATA**

2019 SUPER GT Round 8, MOTEGI GT 250km RACE

11月2日 | 天候：晴 | コース：ツインリンクもてぎ | 路面：ドライ

Qualifying Day Summary

公式練習から順調にメニューを消化したSYNTIUM LMcorsa RC F GT3は、
宮田選手が予選Q1を突破し吉本選手が予選Q2で9番手を獲得
今シーズン初のトップ10内グリッドから、上位フィニッシュを目指す

Qualifying Day

4月13日-14日に岡山国際サーキットで開幕した2019年のAUTOBACS SUPER GTシリーズ。国内の主要サーキットと海外戦となるタイラウンドを経て、最終戦の第8戦「MOTEGI GT 250km RACE」がツインリンクもてぎを舞台にして開催される。11月2日（土）には公式練習と予選、3日（日）は通常より50km短い250kmの決勝レースで競われる。



SUPER GT 参戦6シーズン目となるLMcorsaは、念願となるSYNTIUM LMcorsa RC F GT3での初優勝を第6戦「AUTOPOLIS GT 300km RACE」で飾った。第7戦を終えた時点で、ドライバーズランキングは吉本大樹選手が10位。昨シーズンは最終的に23ポイントを獲得して15位だったので、シリーズチャンピオン争いには残れなかったが着実に成績を上げている。

SUPER GTの最終戦は全戦に出場してきたマシンのハンデウエイトがなくなるため、チーム力やマシンのポテンシャルの戦いとなる。ツインリンクもてぎは、SYNTIUM LMcorsa RC F GT3にとって得意なコースレイアウトではないが、1年間の集大成として上位入賞を目指す。

レースウィークの公式プログラムは8時50分に始まった公式練習でスタート。コースオープンとともにSYNTIUM LMcorsa RC F GT3のステアリングを握って吉本選手が走行を始める。持ち込みのセットアップやタイヤを確認すると、計測12周目に早くも1分47秒020の自己ベストタイムをマークし好調さを示す。

Qualifying Day

吉本選手は 15 周を走行するピットに戻り、宮田莉朋選手にドライバーチェンジ。宮田選手は決勝レースを想定したロングランテストを実施し、想定していたメニューを着実に消化していく。1 時間 45 分の公式練習は、最後の 20 分間を GT300 クラスと GT500 クラスの占有走行時間に充てている。専有走行も引き続き SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 に乗った宮田選手は、41 周目に自己ベストタイムの 1 分 47 秒 513 をマーク。公式練習は、2 人のドライバーが順調に 42 周を走行し終了した。結果は吉本選手がマークしたタイムで、29 台中 10 位となった。



公式練習の後には 15 分間のサーキットサファリが実施され、ここでも SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 に 2 人のドライバーが乗り込み、予選前の最終的なチェックを実施。トラブルフリーのまま予選へ挑むこととなった。

<予選>

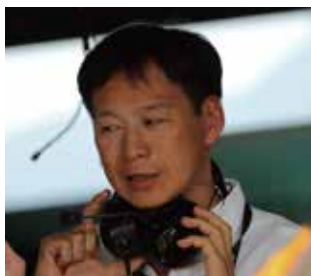
併催される FIA-F4 選手権の決勝レースやサポートレースの予選を挟んで、予選 Q1 が予定通りの 14 時に始まった。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 には宮田選手が乗り込みコースイン。通常よりも多めのウォームアップランを行ないタイムアタックの間合いを図る。インラップから 4 周に亘ってタイヤやブレーキに熱を入れると 5 周目からタイムアタックを開始。全セクターで自己ベストタイムをマークすると 1 分 47 秒 388 で 1 周目のアタックを終える。予選 Q2 へ進出できる順位に入っているものの、ライバル勢がタイムアップを果たすと 17 位以下になってしまう。引き続きタイムアタックを行なった宮田選手は、翌周に 1 分 47 秒 314 とわずかだがタイムアップ。このタイム更新が功を奏して、予選 Q2 へ進出できるギリギリの 16 位で吉本選手にバトンを繋いだ。

GT500 クラスの予選 Q1 を終えると GT300 クラスの予選 Q2 がスタートした。SYNTIUM LMcorsa RC F GT3 を駆った吉本選手は、インラップから 3 周目までをウォームアップランに当てて、4 周目にタイムアタックを実施。予選 Q1 と同じ状態でのタイムアタックとなったが、全てのセクターで予選 Q1 のタイムを上回る。コントロールラインを通過すると 1 分 46 秒 590 の結果がタイム計時モニターに映し出された。ライバル勢もタイム更新したために 9 番手となったが、今シーズン初めてトップ 10 内で予選を終えた。



明日の決勝レースは 250km と短く、公式練習でロングランテストを実施していることもあり、上位への進出が期待される。

Team Comment



Director :飯田 章

公式練習から2人のドライバーのフィードバックが良く、コースコンディションと持ち込みのセットアップやタイヤが合っているようです。予選はQ1を宮田選手が突破してくれ、Q2で吉本選手が9番手を獲ってくれました。2人とも良いパフォーマンスを見せてくれて、想像より上位に入れました。決勝レースは250kmと短いことで戦略が勝負のカギとなります。明日は最終戦なので、チームの力を出し切って上位を目指していきます。



Driver :吉本 大樹

公式練習の最初は少しセットアップを変更しましたが、ほぼ変化がなかったことと状況が良かったため、すぐに宮田選手にチェンジしてロングランのテストを実施しました。ここ最近ではなかったほど順調な公式練習だと思います。予選は決勝を見据えたタイヤ選択だったためQ2進出が厳しい状況でしたが、宮田選手が突破してくれました。Q2は最終コーナーで安全マージンを残してしまいましたが、それ以外はまとめられました。明日の決勝レースは序盤で踏ん張れば、チャンスが巡ってくると思います。タイヤもブレーキも状況が良いので、しっかりと結果を残したいです。



Driver :宮田 莉朋

公式練習はロングランテストをしてから専有走行でニュータイヤを履きました。クリアラップが取れなかったため、満足したタイムが出せませんでしたが、それでも順調な公式練習でした。予選Q1は想定したよりも1周遅いタイムアタックでしたが、ギリギリで突破できてホッとしています。Q2では同じパッケージで予選9番手となったので、現状で持っているパフォーマンスを発揮できたと思います。決勝レースは、タイヤ無交換や2本交換でないとトップ5に入れないと考えています。チームと戦略を立てて、確実にポイントを獲得してシーズンを締めくくりたいです。

